

# 木協通信

第68号  
発行年月日  
令和2年3月6日  
日田市大字東有田  
字新山2776-6  
日田木材協同組合  
TEL24-2167



## ★日田木材協同組合百年を語る

日田郡木竹商組合の議事規則もほぼ同様であったと推測される。  
大川木工業と日田林業が持ちつ持たれつ  
の関係で発展してきたことはすでにのべたとおりであるが、それを取り持ったのが筏流しであった。

筏乗り、唄いながらに早瀬を下る。谷の鶯連れて鳴く、長溪、荒瀬早過ぎて、恋しき久留米が近くなる。」  
これは筏流し唄の二節である。

三隈川を下る筏流しには、大明神のように、筏を砕くような難所あるかと思えば、しばし手を休め、谷あいの自然の美しさにみとれて、つい筏流し唄でも口ずさみたくなるようなゆるやかな流れもあった。

## ★ 企業連携型木材製品輸出促進 モデル事業」商談報告

日時：12月2日(月)～12月7日(日)  
場所：アメリカ/フロリダ・テキサス 事業部長 高瀬浩佳  
フロリダ 「A社」

1985年ブラジルで起業し、アメリカ帰国後に現在の会社を設立、全米各地に販売先を持ち、契約倉庫6か所にて営業展開中。広葉樹はブラジル主体に月30コンテナ、針葉樹はブラジル主体にサザンイエローパイン、ユーカリ等を月30コンテナ、併せて月60コンテナ程を輸入している。現在は日本杉製材品の販売開拓にも精力的である。

フロリダ 「B社」  
米国上場企業で住宅資材販売の大手企業。米国東南部から中部にかけて約50か所の拠点を持つ。今回はフロリダ州オーバンデーの物流倉庫を訪問した。例年年末の為に在庫は少ないが今年にはカナダでのストライキなどにより一層少ないとの事。カナダ材は敷地内にある鉄道引込線により、3週間かけて搬入されるが、その費用はアジア・アメリカ間の輸送コストに匹敵するそうである。主な取扱製品は、ブラジル産イペなどの高級堅木材、カナダ産ウエスタンレッド



ドシダー、国産ウエスタンレッドシダー、米松、フロリダ地方からの安いサイプレス(アメリカ産ヒノキ)等。日本杉は日本製紙木材ルートで愛媛材を試験的に買っていた。他のスギとは差別化を図りながら営業しておりその評価も高いとの事でした。

フロリダ 「S社」  
フロリダ州ウインターヘブンにある木材防腐処理・加工、販売会社。  
出荷材の70%が全米No.2のホームセンター「LOWES」ローズ向けとの事で、現在は閑散期で1日35台(約1千㎡)程のペー

スは東南部主体の店舗へ配送されているとの事。繁忙期には65台ほどになるそう。メインは防腐処理設備による防腐材で、多くはブラジル及びこの地区に多いサザンイエローパインを防腐処理して販売している。その他、国内サイプレス(米ヒノキ)製品をフェンス材(再割加工やドッグイヤーDE加工)加工も行っている。

LOWES ホームセンター(大手)がディメンションランバー(2×4材)やフェンス材の日本杉仕入れに興味を示しているという情報もある様です。

テキサス 「D社」  
中国河南省鄭州市に本社を持つ米国現地法人。10年ほど前から中国柳杉フェンスを輸出しているが、米国拡張を目指し2015年に米国法人を設立している。米国本社はカリフォルニア州ダイアモンドバーにありD社社長も居住する。フェンスの主要消費地であるテキサス州ダラスに倉庫を持ち通常は50コンテナ分の在庫を持つているが

年末の在庫に税金がかかる現在は極力減らしているとの事。中国産他社買入日本材フェンスや、日本産フェンスなど月30コンテナを仕入れている。中国での生産実績を活かし米国で積極的に営業展開。当組合とも既にお取引頂いているところでもある。

テキサス 「R社」  
テキサス州の中でも角材大手。同社はカナダ、アメリカ西海岸から特殊サイズの米杉、米松を仕入、自社で再割して仕上げ、

自社製ラッピング梱包で、様々なユーザーのニーズに応じている。未だ、日本材の扱いは無いが、ユーザーから要望次第との事。SA社からも既に営業活動を行っていたのには驚きました。

最後に、ホームセンター「LOWES」ローズを見学しました。  
今回は、日本木材輸出振興協会」の令和元年度企業連携型木材製品輸出促進モデル事業」を活用させて頂き、この様な活動が実施できたのですが、この事業で途切れるのではなく、引き続きアメリカ市場へのアプローチが実施できる様、行政各位にもお願いするところです。日本の木材製品に限らず、アメリカはいろいろなものを求めています。今回お邪魔した事業所全てが活気に溢れていました。この状況は日本とは明らかに違います。日本材がスタートラインに立てそうな気配があります。



## ★林材安全協業所安全パトロール

平成28年より大分県西部振興局と日田労働基準監督署、木材産業の団体が災害防止に取り組み協議会を組織しました。毎年実施しています。また、山林現場や原木市場等のパトロールも実施しております。

今回は、(株)野上製材と(株)マルエイを訪問しました。  
また、翌日は、木材製造業安全衛生管理者研修会を木協会議室にて開催し、安全管理士の石川氏より「日田地区木材製造業における災害防止対策について」と題し講話を頂きました。



## ☆お知らせ

○令和元年度木づかい促進事業  
令和元年度の受付は1月20日をもって終了、新築・リフォーム共に終了しました。尚、災害申請は随時、受付をしています。



